

旧若杉小学校跡地の活用方法（素案）に関するオープンハウス（令和7年10月開催分）

アンケート結果

問1 年齢をお聞かせください

区分	人数
10代以下	一
20代	一
30代	1人
40代	4人
50代	3人

区分	人数
60代	6人
70代	10人
80代以上	1人
未回答	一
合計	25人

問2 住所をお聞かせください

区分	人数
天沼	9人
本天沼	2人
上荻	3人
清水	3人
今川	1人
桃井	2人

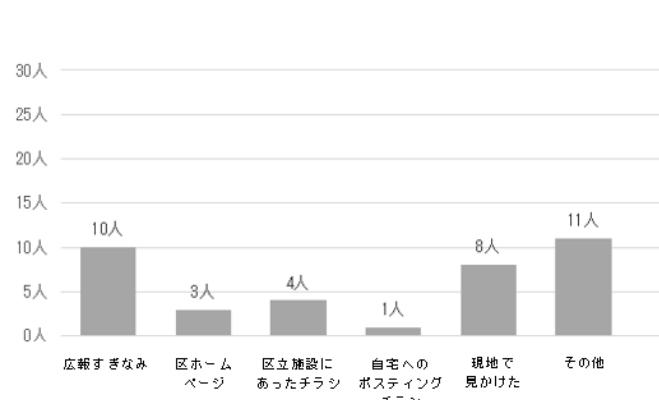
区分	人数
荻窪	2人
高井戸西	1人
高円寺南	1人
区外	1人
未回答	一
合計	25人

問3 オープンハウスや意見交換会に参加しましたか

区分	人数
オープンハウスに参加した	11人
意見交換会に参加した	5人
オープンハウスと意見交換会に参加した	5人
参加していない	4人
合計	25人

問4 オープンハウス及び意見交換会の開催を知ったきっかけは何ですか（複数回答可）

区分	人数
広報すぎなみ	10人
区ホームページ	3人
区立施設にあったチラシ	4人
自宅へのポスティングチラシ	1人
現地で見かけた	8人
その他	11人
合計	37人



(その他の回答内容)

- ・町会を通じて知った
- ・以前からワークショップ等に参加している

問5 どのような公園エリア・共有エリアであれば、子どもから高齢者まで誰もが使いやすくなると考えますか（自由記述）

該当するエリア	内容
公園エリア	<p>阿佐谷地域区民センターみたいに、公園と建物がつながっているようにしてほしい。</p> <p>自由に入り出しができる、安全であること。そして、周辺の道路などにも気配りが必要。</p> <p>公園の周りは植林して、日陰スペース、憩いの場。</p> <p>子どもたちの遊び場、広場のような場所。</p> <p>なるべくオープンスペースに、草地と立木のバランス。</p> <p>公園を広くしてください。</p> <p>災害時に活用できるように、トイレ、シャワーもあつたら良いと思います。</p> <p>近隣の公園がない環境が良いと思う。子どもたちがボール遊びできる環境であるなら、たくさん遊具を置くより、広々とした環境の方が良いのではないかと思う。また、避難所としての機能を考えた時も使いやすいのではないかと思う。もし、遊具を置くなら、昭和記念公園にあるようなふわふわドームがほしい。幼児期から長く楽しめるし、障害のある子どもも楽しめる。</p> <p>誰でも使いやすくするには、防災公園としての機能以外は、ベンチなど最低限のもの以外は、何も作らない方が良いと思う。</p> <p>広い敷地、砂埃の立たない地面、敷地の周辺に樹木が茂る空間、周辺のベンチから敷地が見渡せる環境（子どもの見守り）、（特に夏季対策）自然の木陰が存在する空間、被災時初期の一時避難場所として有効に活用できる設備（水源、トイレ、他）。</p> <p>木陰や日陰があること。ベンチがあること。植物が多く、緑豊かなこと。</p> <p>災害時の避難場所としても使えるように、広々としたところ+ベンチや東屋を置き、災害用のトイレなども完備すると良いかと。水が出ればだが、防災用の井戸があっても良いか。子どもエリアはいわゆる児童公園でも良いかと思う。近くにある保育施設から遊びに来られるようにしておくと良いのでは。</p> <p>イベント等を行いやすいように、アスファルトで覆われて、ブースとか出しやすいところも少しだけ用意しておいた方が良いかもしない。</p> <p>安全に安心して遊んだり休憩したりできる空間。見晴らし良く目が行き届く空間。</p> <p>背の高い樹木を多く植えると木陰ができる、公園が利用しやすくなるし、火災の延焼防止になる。</p> <p>いつ発生するかわからない災害、しかし必ず発生する災害に備え、公園・広場機能を持った開かれた場所にしてください。色々な施設を盛り込むと、それぞれの管理者による調整が複雑になり、利用者・住民の都合よりも施設管理者の都合が優先されるのではないかと心配します。</p> <p>子どもたちの遊び場が少ないので、公園や児童館のような場所があっても良いと思います。</p> <p>今後増えるのは、子どもより高齢者なので、高齢者に重きを置いた方が良い。</p> <p>誰でも気軽に入ることができる場所。</p>

	<p>天沼弁天池公園エリアとの差別化役割分担の明確化を行い、地域に愛される公園にしてください。安全対策の所管（みどり公園課、地域課、児童青少年課など）はどこにするのか、人件費はかけないようにしてほしい。植栽方法や遊具設置のための意見交換会を、必ず別途開催してほしい。キッチンカーも良いが、地元商店街のイベント（飲食関係）もしやすいようにしてください。複数の多目的トイレの設置をお願いします。屋根のある遊歩道がほしい。ゲートボールやモルックなど、高齢者も使用しやすいスポーツエリアがほしい。ボール遊びができる、金網のある球戯場や屋内球戯場（震災救援所にも対応）がほしい。屋外にも時計台がほしい。災害時に対応しやすい入口づくりをお願いします。</p> <p>広い公園がほしい。</p>
	<p>喫煙禁止エリアから外れると思うので、高井戸地域区民センターのように喫煙エリアを設けるか検討してください（子どもエリアと要調整）。</p>
	<p>大事なのはスペース、そして応援する雰囲気だと思います。</p>
	<p>元々小学校だったから。</p>
	<p>防災公園。</p> <p>「子どもから高齢者まで誰もが使いやすく」という観点であれば、杉八小跡地のスペースをそのまま利用した「ふらっとすぎはち」が各所に新設されていたコミュニティふらっとの何番目かとして誕生し、地域住民や利用者に大変好評で喜ばれているそうです。高円寺図書館の機能移転は別として、公園と共有エリアのあり方として参考にしてほしいと思います。</p>
共有エリア	<p>地域の仲間が予約不要で無料で集まることができるスペース、静かに読書や勉強ができる、安全に安心に過ごせるように見晴らしのよい空間。</p> <p>共有エリアの中にはサロン的な施設があって、近隣の住人や小さい子どもを連れた方が休んでお茶が飲めるような場所を作ってほしい。業者が入るのか、町会で運営するのかは後から考えれば良いが、サロン的な椅子とテーブルがあり、その後ろに調理ができる調理場があって、その後ろに子ども食堂などに使える多目的室を完備した施設を要望します。</p> <p>平時でも災害時でも、（特に女性用の）トイレは多い方が良いと思う。</p> <p>ホールのような雨天でも体を動かせる場所があると良いなと思う。静かに過ごしたい人と動きたい人で住み分けができると良い。また、近隣の保育園では現在の体育館を使用して運動会を行っている。園庭がない、または小さい園ばかりなので、その事を考慮していただけると、大変ありがたい。</p> <p>また、避難所としても活用できるのではないかと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の誰もが集い、会話できる空間と静かに寛げる空間の共存 ・空間設定の自由度を上げる壁構造（目的に応じ広さや仕切りが自由に変えられる設計） ・震災救援所として機能できる設備と備蓄環境 ・子ども食堂（現、キッチンあまぬま）の開設（世代を超えた交流の場） ・（外部委託も含めた）飲食施設の併設と運営 <p>フリースペース、カフェ、子ども食堂キッチン天沼。</p> <p>予約して使用できる集会所が欲しい。荻窪駅周辺になく不便だった。</p> <p>歌の練習、お芝居の稽古、老人の遊び場を作ってほしいです。</p>

子ども食堂、図書室、情報入手室（他施設とのネットワークを）。

他自治体の施設見学を行い、より良い施設設計をしてください（武蔵野プレイス 中野城山ふれあいの家等）。もし、震災救援所を設置するなら共有エリア、子どもエリアのどちらになるのか明確にしてほしい（使える割合が変わってくる）。高井戸地区区民センターのような図書室、永福和泉区民センターのような和室コーナー、セシオン杉並のような乳幼児コーナーがほしい。コミュニティふらっと永福サイズの施設なら作れるはずです（集会所機能は別途協議）。コミュニティふらっと高円寺南のようなラウンジテラスコーナーのような施設が出来ると良いと思う。子ども食堂用のスペースは児童館学童クラブのキッチンで代用出来る（そもそも子ども食堂がいらないようにするのが行政のあり方ではないか、子ども食堂ありきは違うと思う）。区民ギャラリーや子ども食堂（持込）の出来るスペースがほしい。多世代で交流しやすい将棋、囲碁、麻雀等が出来る部屋がほしい。子どもがゲームをすることができる部屋がほしい。静かに一人でものんびり出来るエリアと複数人でもおしゃべりやカードゲーム等、多少声が出せるエリアの整理が必要だと思います。ガラス張りにして外から見える施設にしてほしい。夜遅くまで使える施設にしてほしい。杉並区には20代が利用しやすい施設が少ないと思うので、若者の意見取り入れて下さい。高齢者のみ使えるコーナーがあつても良いかもしれない（ゆうゆう館代用）。とにかく無料で多くの共有エリアを使いたい。杉並第一小学校跡地活用に負けない跡地活用を（予算面等）お願いします。

児童館が移転することとは別に、児童館と共有エリアの動線はきちんと分けることが最低条件です。やはり、消防出張所が来ることは難しいと思うので、上荻児童館との交換が望ましいのでは。

子どもエリアの夜間目的外使用可否によって、共有エリアのエリア決め（部屋の用途）が変わるとと思うので、要検討をお願いします。

共有エリアは、改築予定の天沼中、ウェルファームに所在する各施設など、近隣の公共施設との機能が連携できるようにして、地域全体のニーズが実現できるように、区役所の縦割りを超えて検討してもらいたい。

資料にあった須賀川市の tette には行ったことがある。結構大きく、作りはモダンなのだが、あれくらい広々しているのは、場所がない杉並区ではもったいない気がする。杉並公会堂のロビーもそれほど大きいわけではないし。どのくらいの大きさの建物を建てられるかがよくわからないが、阿佐ヶ谷地区区民センターを二回りくらい大きくした感じぐらいか。であれば、たとえば阿佐ヶ谷区民センターとかをモデルにしてもよいかと。ただ、阿佐ヶ谷区民センターは部屋とかトイレを示すアイコンがデザインに凝りすぎてわかりにくいので、わかりやすさ、使いやすさ、メンテナンスのしやすさ（特に建物外壁等）を重視した、メンテナンスコストが小さくなる建物にしてほしい。例えば地中熱冷暖房を使うとか。

また、旧若杉小の隣には東京衛生病院がある。可能であれば、病院と連携して、災害時の医療施設（野戦病院）として利用できるようにしてみてはどうか。聖路加病院は、いざというときのために、礼拝堂を野戦病院にできるようにしてあったと言うし。非常用の簡易ベットを防災用品として用意しておくだけでも違

うのではないかと。

地盤的に見て、洪水被害に遭うとは思えないが、少なくとも道路から数十センチくらいは高めに入口を設定しておいて(緩やかに土盛りしておいて階段がなくても良いように)、豪雨の時の水の侵入を防げるとよいのでは。そうすれば、地下フロアを作つて、そこに防音完備な部屋(音楽系のサークルに対応)を用意するとかやりやすいし、災害用の備品も置きやすいのでは。

資料に書いてあった子ども食堂用スペースだが、これは調理室があればよいのでは。ただ、単に調理だけではなくて、部屋の後ろにイス・テーブル置いて食べられるスペースが確保できればよいかと思う。なお、もし調理室を作るのであれば、調理台の高さは高くしてほしい。昔と比べて日本人の身長は高くなっているので、昔と同じような高さにすると、若い人などは調理台が高いので。

児童館については、未就学児・小学校低学年・高学年・中学生・高校生で使い方が違ってくるのではないかと思う。中高生のことも視野に置くのであれば、実際に中高生に色々聞いてみる必要があるので。放課後の部活動等の外部委託化という話もあるので、部活動を行えるような場所として考えてみるのもよいのでは。

問6 消防エリアの有無によって、天沼地区や他のエリア（公園エリア・共有エリア・子どもエリア）はどうなると考えますか（自由記述）

消防出張所が旧若杉小跡地にあることで、地域の防災力が上がると思う。

消防車のサイレンや訓練の音が心配です。また、一方通行の細い道を緊急走行するのは無理がありますか。路上駐車禁止にも関わらず、駐停車している車が多く、人通りも多い道を救急車が通るのは危ないし、そのために、救急車や消防車の到着が遅れたりしないのでしょうか。

現在の荻窪消防署天沼出張所は古く、大きな地震が来たら建物自体が危険で震災対応が難しくなる可能性があるので、早く移転した方が良いと思います。

- ・防災という観点で強い味方、地域の防災拠点となる。
- ・設置するなら、敷地の北東部が唯一の選択肢（特に消防車の導線）。
- ・共有エリアに保育園・児童館を含めることから、別棟を敷地南部に建設する。
- ・敷地にて、各種の防災訓練が能動的に実施され、防災意識の向上が図れる。

災害時に安心できる。

消防エリア反対（うるさい）。

消防出張所を迷惑施設としてとる住民がいることも事実。他地域とのバランスをとるために、どうしてもここであるという理屈付けを。

消防エリアを設けた場合は、他のエリアの広さや利用に制約が生じるとは思うが、近隣の住民が納得できて、道路の幅や、消防車両の出入りの問題等がきちんとクリアできるのであれば、消防エリアはあった方が良いと思う。

消防エリアがあった場合、上荻保育園のセキュリティ上の効果がある。

ない場合は、共有エリア、子どもエリアが広くなる。消防出張所は、上荻保育園跡地にできればなお良い。

道路事情などから、消防エリアを跡地に設置するのは不適と考える。消防エリアを設けずに、公園エリア・共有エリア・子どもエリアを、より広くする方が良いと思う。

他のエリアが小さくなても、消防エリアの拡充は行うべきだと思う。

児童館との交換で上荻地区に移転してもらい、公園施設を広くとってもらいたい。木などを配置するところは、エリアの外側に配置して、中心エリアは人工芝より多目的な遊びができるような作りが望ましい。

地震や火災が起きた時の安心につながる。周りの道路が狭く、通りにくいので対策を講じてほしい。

天沼は道路が狭く、火事などの危険が伴うため、現状の消防出張所では不十分です。

消防署が少ないので、小型の車であれば良いと思います。大型の消防車だと、道が狭く、入りづらそうだと思います。

道路の狭さ、交通状況が気になる。また、音（サイレン）の問題も出てくるのではないかと思う。天沼エリアではないとのことだったが、上荻保育園・上荻児童館跡地に移転した方が、利便性としては高いのではないかと思う。

消防署の移転だが、やはり道の状況を考えるとかなりきついのでは。まだ、天沼小学校の敷地を何とかする方が実現性があるかと思う。上荻保育園の敷地利用もしかり。

上荻保育園だが、それを旧若杉小跡地に移転となると、確かにアクセスが格段に悪くなるか。青梅街道渡ると、その先の道がかなり狭いので。交通量も多いし。例えば、旧若杉小跡地に児童館だけ作り、上荻児童館部分は手直として、荻窪北保育園（これも古い）分を吸収、荻窪北保育園を建て替え、上荻保育園を荻窪北保育園に引っ越し、というはどうだろうか。人数的にかなりきついかもしれないが、人口減のことを考えて、保育園集約しても良いかもしれません。

公園と荻窪消防署天沼出張所が併設の場合、常駐が見込まれる所員により、公園利用者による騒音等の制御が期待できるかもしれません。

消防出張所来てください。

旧若杉小の隣に消防設備があるので、特にいらないかなと思います。

消防エリアを作るなら近隣住民のみ集めた意見交換会を別途開催するべきだと思う。近隣住民の理解無しでは施設維持が上手くいかないと思う。法令上問題無し（騒音、道交法、建築法等）なら作るべきだと思う。この天沼エリアでこれ以上の土地の確保は難しいと思うのでこの場所に（仮庁舎が不要、全体最適から見ても）。防災機能が向上するなら、天沼地区も更に安心安全になると思う。防犯上の観点からも移転した方が良いと思う（24時間人がいる）。消防エリアの会議室等が地域住民に開放出来ると更に良いと思う。地域住民の心配を数値化してほしい（騒音、出勤予測、交通量予測）。訓練の音量が知りたい。移転するなら移転元の施設との財産交換等は慎重に考えてほしい。この場所に移転しない時の候補予定地はあるのか知りたい（上荻保育園・上荻児童館跡地以外）。上荻保育園・上荻児童館跡地が消防出張所になったら、上荻一丁目の福祉はどうなるのか考えてほしい。

消防エリアの有については、大きな疑問を感じます。旧若杉小学校跡地として活用するケースとして、子どもから高齢者までが使いやすくなるという観点から見ても、小学校跡地はそもそも地域住民がその名残や伝統を受け継ぐ場所ではないでしょうか？

よって、消防エリアの設定は、小学校跡地に設けるのではなく、その移転、新設等は他の地域を探してみるべきではないでしょうか。もしくは、本来あった場所の改築等を考慮・検討し、解決していく問題であると思います。もちろん、コミュニティ施設に震災、防災などの観点から、新施設内に備蓄のスペース等は他のコミュニティ施設同様にあっても良いと思います。

消防エリアのような限られた目的の施設を作ると、一部の人しか利用しない。

名称「若杉防災公園」。帰宅困難、駅前滞留。

問7 その他、旧若杉小学校跡地の活用方法に関するご意見等があればご記入ください

上荻保育園と上荻児童館の移転整備は、子どもたちのことを考えると地域としても良いと思う。
できるだけ多くの人が楽しんだり、くつろげる場所にしてください。全面禁煙にしてください。
地域の声を聞いていただき、ありがとうございます。こういう場に、子どもや学生の参加はなかなか難しいと思いますが、彼らの意見も同じように尊重してほしいなと思っています。
住宅街なので対策がいろいろと大変かもしれません、小型車が入れる消防スペースは重要。指導者などをしっかりと配置し、子どもたちが安心して遊べる場所を作ってください。
荻窪駅西側には給水施設が無く、最寄りの場所が遠いので、地下に貯水槽を作ってもらいたい。また、災害時に活用できる防災倉庫を必ず設置して、大型テントなどの備蓄をお願いしたい。また、かまどベンチなどの設置も望みます。公園の中心エリアは人工芝にしていただき、土曜や日曜、祭日に共有エリアのサロンと同じように、キッチンカーなどの業者が入って、利用できるような区民が集える施設を望みます。
このエリア周辺の道は細く、一方通行なのに、病院への緊急車両やタクシーが頻繁に通るので危険極まりない。さらに人や自転車がこのエリアに集中するようになると、事故が頻発するようになると予想される(交通ルールを守らない自転車が多い)。跡地活用は、道路拡幅とセットでなければ成り立たないし、実施すべきでない。
令和7（2027）年4月1日解体開始。第一期工事、令和9（2029）年4月1日、まず「若杉防災公園」を開園しましょう。そのためのスケジュールを。
オープンハウスや説明会を今後も継続して開催してほしい。また、中高生への意見を聞いたり、上荻保育園を使いそうな人へのアンケートなどもしてほしいと思う。今の、住民の意見を十分に聞いてから方針を決めるというやり方はとても良いので、この方針を継続してほしい。
駅近という立地を生かして、多文化共生センター、男女平等センター、平和資料館など、区全体の機能を担当する施設を設置すると、区内全域から天沼地域を知ってもらうことができ、地域のブランドが確立できるのではないか。
素案の作成から案の作成までの期間が短すぎる。子どもエリアの運営が大事なのに、何も区民に伝わっていないと思う。案の作成から活用方法決定までに、何回くらいオープンハウスや意見交換会を行なう予定なのか知りたい（パブコメ段階になってしまったらほぼ何も変えられない）。【子どもエリア】について、子どもエリアの内容・運営方法がわからないので、別途オープンハウスや意見交換会の早期開催を要します。天沼小学校の学童クラブ移転問題を深掘りしてほしい。上荻児童館移転時に、学童クラブも併設移転で本当に良いのか考えてほしい。天沼児童館改築時の学童クラブの移転先（上荻児童館学童と合併）も考えているのか知りたい。そもそも小学校の中に学童クラブを作り、更に放課後等居場所事業でフォローする仕組みのはず。跡地が本当に学童クラブの場所として最適か、再度検討して下さい（近隣施設との場所交換）。上荻児童館を中高生機能優先児童館にするのかしないのか、明確にしてほしい。通常、児童館なら学童併設、共有エリアで中高生優先機能は対応出来るようにする。そもそも、小学校が合併したのに児童館が学区域に2つ、更に子育てプラザ（児童厚生施設では3つ）、コミュニティふらっとまであるので近隣地域との格差は認識すべきである。中高生機能優先にするならば、保育園と学童クラブは別館にする検討も必要（セキュリティ、怪我防止）。学童クラブが併設されていなければ、児童館のないエリアの高学年の小学生、中高生も来やすいと思います（大人が思っている以上にナワバリにうるさい）。この場所にゆう杉並のような、大型児童厚生施設を作れば、中央線北側の中高生対応は出来ると思う（行政区に7つも中高生機能優先児童館を作る必要はない）。上荻児童館を通常児童館にし、天沼児童館や本天沼児童館を中高生機能優先児童館にする検討もしてください（現在の利用人数、優先館の

配置場所のバランス、建替時期等)。中高生の利用人数を増やしたいなら、第2のゆう杉並を作るべきだと思う(杉並第一小学校跡地活用に負けない施設)。この場所に中高生機能優先児童館を作った際の高校生のメインターゲットはどこか知りたい(私立高校、都立高校、区内在住高校生)。中高生ワークショップが12月まで開催されているが、中高生と行政、地域の大人との意見交換会等を行ってほしい。上荻児童館に関しては、サンカードを廃止して日曜日も子ども達が入館出来るようにしてほしい(使用制限あり)。職員が、中高生の相談や世間話が出来る職場環境を作りたがいたい(現状学童クラブ業務増加に伴い一般来館の対応が充分に出来ないように感じています)。地域コミュニティの構築が必要だと思います(母親クラブの減少等)。意見交換会の参加人数が少なかったので、一部の意見ではなく多様な意見の集約をお願いします。

子ども、女性、高齢者が安心して使えるトイレの設置。出来るだけ費用を抑えて、スピーディーに進めてほしい。工事中の近隣への配慮。

現在、旧若杉小にあるさざんか荻窪教室が天沼中校舎内に移転するが、小学生が通えるさざんか教室が学校敷地とは別の場所に必要。上荻児童館の跡地を検討してほしい。

子どものために使ったり道路を広げたりして頂きたい。

池袋の造幣局跡地利用を手本として、敷地の地下に『常時流動型貯水タンク』の建設を計画し、東京都水道局と折衝することを希望します。災害発生時に間違なく役に立ちます。

行政は時間がかかると思いますが、私のような高齢者にとって、1日も早く旧若杉小学校跡地を蘇らせてほしいというのが願いです。

今気づいたが、旧若杉小学校跡地には、大きな樹木が何本もあるが、工事の際には、木は全て切るのでしょうか?

旧若杉小学校跡地の活用は地域住民に開かれた公共施設の在り方として素案②(消防エリアがある図)ではなく、こうしたら良いのではないかというのが以下内容です。

10月24日開催されたオープンハウスの計画図によると、消防エリアがある素案②は小学校時からまだ現存している体育館のあるスペースです。この室内体育施設、つまり体育館を屋根付きの運動施設として残し、種々のスポーツやダンスや民芸など地元住民がフラットに楽しめる場とすべしです。現に「ふらっとすぎはち」では従来の体育館がそのまま残り、少し改修されてこの9月から新たな遊び場や活動場として子どもたちやシニアの人々に公園のように使用できるオープンな場として使用されています。

これは旧若杉小学校跡地の校舎側にできるであろう新たな公共室内施設内の多目的室とは違い、スペースや管理運営上において使用意図が大きく違います。特に旧体育館施設はスポーツ、運動などがのびのび出来る広さや設備においてです。

今回の小学校跡施設の活用案において、たしか旧体育館施設は今後十数年で老朽化してしまうと書かれていましたが、果たしてそうでしょうか?十数年後であっても、将来は新たな体育・室内施設としてリフォームしたり簡易な建築法で維持することが可能になり、すぐれた住民のための利活用の場として残れる可能性があります。住民は運動やくつろぎや催しがオープンにできる場を欲しているはずです。特に、昨今の夏の異常気象や大雨などの影響で外での運動などが大きく妨げられているのが現状です。これが室内での利用であれば猛暑や長い雨日であっても住民が使えるスポットになるのです。体育や大きな催しなど健康で文化的に活用できる住民の憩いの場として利用できる場を消して、なぜ特定な条件として出てきた案と思われる消防エリアにしてしまうのでしょうか?

ですのでお願いですが、上記の理由によって素案①を採用していただき、かつ公園スペースの一部の中に「ふらっとすぎはち」のように旧体育館やそのスペースを残し、そこを利活用した新しい体

育遊戯施設として誕生することを切に望みます。

付記として地域行政においては公共の建築施設等の新たな新設、増設が予算枠にてプラン実行が難しくなっている現状を鑑みた場合、この旧体育館の温存、改築等の利活用は費用も少なくできるプランであり、実用性も多大なるものと思われます。以上ご検討のほどよろしくお願ひいたします。

よく皆様の意見を聞いてまとめられると感謝しています。